　スポーツクライミング選手・保護者の皆さまへ

　　 　　　　　　　　北海道山岳連盟競技委員会

第19回北海道選手権大会ボルダリング競技について

　第19回北海道選手権大会ボルダリング競技は、11月15日に予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、11月7日に道の警戒ステージが「２」から「３」に上がり集中対策期間に入ったことを受けて、開催を延期していました。

　北海道山岳連盟としては、北海道選手権を目標に練習に励んできた選手の皆さんの努力を無にせず、さらに全国大会に向けて強化を進めていくためにも、中断している本大会を最後までやり遂げたいと考え、次のとおり条件付きで開催することを決めました。

　１ 移動制限や不要不急の外出自粛が解除されていること。

　２ 北海道の警戒ステージが「２」以下であること。（「３」から「２」に戻っていること）

　３ 開催地である美唄市が大会開催に合意していること。

　これらを全て満たしていることを条件に、別紙「開催要項」の通り３月７日（日）、美唄市体育センターにおいて、感染対策をしっかり行った上で開催します。

　なお、開催の可否を判断する期限は２月末日とします。２月末日の時点で条件を満たしていなければ、北海道選手権大会ボルダリング競技は今年度中止します。

　開催する場合は、4月24日～25日鳥取県で開催されるユース日本選手権ボルダリング競技大会の代表選考会を兼ねて行います。また、11月1日に実施したリード競技の成績と総合し強化選手の指定を行います。さらに、北海道教育委員会「もうひとつのクライマクス」事業として、男女ユース総合1位の選手に北海道知事賞、同じく2位の選手に北海道教育長賞が授与されます。

　一方、開催できなかった場合は、11月1日のリード競技の成績をそのまま総合成績として北海道知事賞ならびに北海道教育長賞を授与します。また、開催できなかった場合、ユース日本選手権大会の代表選考会はリード、ボルダリングとも別途開催し、これらの選考会により当該の全国大会に向けて強化選手を指定し、強化していきます。なお、4月のユース日本選手権ボルダリング競技大会については、参加申込期限の関係から選考会を先延ばしすることはできないので、北海道山岳連盟競技委員と指定コーチからなる選考委員会で、過去の大会成績等により第1次選考を行い、出場人数を最小限に絞り感染対策を徹底した上で、3月7日代表選考会を行います。新型コロナ感染拡大状況等により代表選考会も行えなかった場合は、第1次選考で選ばれた選手を対象に全国大会出場意志を確認し旅費の一部を補助して派遣することとします。

　既に北海道選手権に参加申込みをしている皆さまには、担当者から連絡を差し上げ参加の意思を確認させていただきます。また、11月は申し込んでいなかった選手や一度取りやめた選手についても、参加申込書の提出により受け付けます（締切2/26）。

　参加料については、11月1日に両種目の参加料を納入済みで、今回参加できない選手には、2000円を返金します。ボルダリング競技1種目のみの参加については、大会当日、参加料3000円を徴収します。北海道選手権ボルダリング競技が開催できなかった場合は、両種目の参加料を納入済みの選手には2000円を返金します。返金については全て口座振り込みとします。別紙「振込口座届」に記載し押印の上、下記、北海道山岳連盟事務局まで郵送して下さい。

〒004-0071 札幌市厚別区厚別北1条4丁目1-4-206　北海道山岳連盟事務局　玉木とし子